

令和 7 年 第 3 回

江戸川区教育委員会定例会会議録

日 時：令和 7 年 2 月 1 2 日（水）午後 1 時 3 0 分

場 所：教育委員会室

教育長	蓮 沼 千 秋
教育長職務代理者	平 井 俊 一
委員	天 野 安喜子
委員	森 本 勝 也
委員	井 戸 道 代

事務局	教育推進課長	飯 田 常 雄
	学務課長	田 森 健 志
	教育指導課長	佐 藤 嘉 弘
	学校施設課長	丸 山 由 紀
	教育研究所長	百 々 和 世
	統括指導主事	関 直 也

書 記	教育委員会事務局	
	教育推進課庶務係長	中 尾 隆
	同 主査	樽 川 翔 平

蓮 沼 教 育 長	開会時刻 午後１時３０分 ただいまから、令和７年第３回教育委員会定例会を開催します。 本日は１名の方から傍聴の申出がありました。事務局は傍聴人を入室させてください。 日程第１、署名委員を決定します。平井委員と天野委員にお願いします。 続いて、日程第２、議案の審議にまいります。 はじめに、第４号議案、江戸川区立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則についてを審議いたします。 内容について、事務局から説明をお願いします。
飯田教育推進 課 長	それでは、ご説明申し上げます。お手元には通学区域に関する規則の新旧対照表をお配りしてございますが、口頭でご案内させていただきます。 既に議決をいただいているところではありますが、鹿骨小学校と松本小学校をそれぞれ廃止し、統合新校として鹿骨松本小学校を令和７年４月１日に設置する予定でございます。今回の規則改正は、それに伴いまして、両校の通学区域を合わせたもの、新しい鹿骨松本小学校の通学区域とするというものでございます。施行期日は、統合と合わせて同じ日付になります、令和７年４月１日というものでございます。 説明は以上です。
教 育 長	ただいまの件に関しまして、質問、意見等あれば、お願いいたします。 いかがでしょうか。
平 井 委 員	内容についてではないんですけれども、この通学区域の変更というところで、通学区域図、その地域だけにスポットを当てた地図、後日いただけますか。
教育推進課長	通学区域図につきましては、毎年見直しをしてございまして、準備ができ次第、配付をさせていただきたいと思っております。
平 井 委 員	お願いいたします。
教 育 長	ほかいかがですか。

教 育 長	〔「なし」と呼ぶ者あり〕 なければ、第４号議案は、原案のとおり決定してよろしいでしょうか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
教 育 長	それでは、原案のとおり決定いたします。 次に、第５号議案、教育管理職の異動についての審議にまいりますが、人事に関する案件であるため、江戸川区教育委員会会議規則第１３条に定める秘密会により審議したいと思いますが、この発議に賛成の方は挙手をお願いします。
教 育 長	〔賛成者挙手〕 賛成多数と認めます。本案件は秘密会となります。 審議は本日の公開案件の後、行いたいと思います。 続いて、日程第３、教育関係事務報告にまいります。 はじめに、教育委員会後援名義の使用承認について、事務局からご説明をお願いします。
教育推進課長	それでは、今回、後援名義等使用申請一覧、２件ご報告をいたします。 １件目につきましては、今回７回目の後援名義申請です。行事名は、ピティナピアノステップ船堀４月地区でございます。申請者は、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会、ピティナ下町えどがわステーション代表であります。事業の目的は、江戸川区の子どもたちが、その個性及び環境に応じた学習方法により、ピアノ学習を生涯にわたり継続し、音楽を楽しみながら演奏技能を向上させていくというものであります。実施日時は、令和７年４月６日（日）。会場は、タワーホール船堀５階小ホールであります。経費の徴収といたしまして、参加料として７，０００円から２万５００円。こちらは演奏時間等により変動いたします。 ２点目の後援名義申請につきましては、今回２回目の後援名義申請になります。行事名は、未来をつなぐ福祉体験型スタンプラリー！小学生と地域が一緒に楽しむ音楽フェス！でございます。申請者は、ほほえみ未来プロジェクト実行委員会委員長であります。事業の目的は、地域の障害者施設と学校が協力し、小学生に障がい者の日常や困難を理解し、共感する機会を提供す

ることで共生社会実現の一助とするものであります。実施日時は、令和7年5月24日（土）。会場は、春江小学校のグラウンド及び体育館であります。対象と範囲につきましては、主に春江小学校通学エリアの住民とありますが、その他も含めてというふうにお伺いしてございます。

資料としてそれぞれつけさせていただいてございますが、まずピティナピアノステップにつきましては、チラシを2種類お配りしてございます。一つ目のチラシの裏面といいますか、2ページ目をご覧くださいますと、このピティナピアノステップの五つのポイントということで記載がございます。

五つそれぞれありますが、まず一つ目として、あなたの演奏に、プロの音楽家・指導者が直筆メッセージでアドバイス。二つ目に、合格証書や参加証書がもらえる。三つ目に、自分の演奏記録が残る。四つ目に、演奏前に、60文字で自己紹介をする。五つ目、継続して参加すると、表彰が受けられる。というような形で、それぞれ日頃の練習の成果を発表するため、または大きな大会に出るための練習として、様々な動機に基づいてこちらのステージを利用されているというふうにお伺いをしてございます。

予算書も参考につけさせていただきました。

もう一つの行事につきましては、企画書を添付させていただいてございますが、企画書の1ページ目に、三つの障害者施設の名前が載っております。それぞれ身体・知的・精神のそれぞれの障害種別に基づく障害者施設が今回、この実行委員会ということで集ったものでございます。

企画書のページ番号が右下に振ってございますが、4／5ページと書いてあるページをご覧ください。

こちらに記載がございましたように、下段のほうになります。「東京都社会福祉協議会 助成事業への申請内容」というところにありますように、今回の企画の概要になります。一つが福祉体験型スタンプラリーというところでございますが、こちらにつきましては、障害者施設の利用者さんと一緒に手芸などの作品を作ったり、そういった体験をする。また、昨年度は、身体障害者の体験ということで車いす体験をされたそうですが、今年度は視覚障害、聴覚障害の方の体験をできるようなコーナーをつくる。また、障害者施設の利用者の方が発表といいますか、プレゼンテーションを行っていただく、こういったことを予定されているそうです。そういったそれぞれのところでスタンプをもらい、参加者の方にはスタンプがそろいましたら、各事業所で利用者の皆さんが作成した作品を参加賞としてお渡しされる予定です。

もう一つが障害者の主催する音楽フェスティバルということで、今回のフェスにつきましては、まだ出演は調整中だというふうにお伺いしてございます。

教 育 長	が、車椅子の女性のバンドの方に出演交渉をしているそうです。昨年度につきましては、片腕のギタリストということで、輝彦さんという方に出席いただいたということで、プロの障害者のパフォーマーの方に演奏していただくということを予定されているとお伺いしてございます。 あわせて予算書もちちらに添付をさせていただきましたが、こちらにつきましては東京都社会福祉協議会の助成金を活用して実施される予定だというふうにお伺いしております。 報告は以上です。
平 井 委 員	ただいま2件に関しまして、報告と説明でございました。質問、意見等あればお願いいたします。 一つ目のピティナピアノステップ船堀4月地区ということで、こちら参加料が7,000円から20,500円ということで、平均すると、予算書にも7,500円という、ちょっと高いかなと思ったんですが、私事ですけども、子どもたち2人、東部フレンドホールでやっぱり年1回ピアノ教室といますか、発表会がある。その時、1人8,000円取られた記憶があるので、これびったしに当たるのかなというところです。感想です。 続いて、二つ目のスタンプラリーと音楽フェス、春江小学校の地域に三つの施設があるというところで、非常にこの地域の子どもたち、障害者施設を利用する方々との触れ合い、非常にいい催しなのかなという気がしております。昨年、第1回目で、今年度2回目ということかと思いますが、昨年度の参加者数、もしお分かりになれば教えていただければと思います。
教育推進課長	昨年度につきましては、300人の参加者ということをお伺いしてございます。やはり一番多かったのが、地元の春江小学校の児童で112名、また鹿骨中学校の生徒が3名ボランティアでお手伝いをしてくださったということでございました。 以上です。
天 野 委 員	幾つかの点、ピアノステップの船堀のほう、ご質問させていただきたい。7回目ということで、一つ目が7回中、全部、教育委員会は後援でなっているのかということが一つ目です。多分、ピアノ教室とかって、ヤマハとかもいろいろ開いていて、こちらのところだけが教育委員会後援になるというところの重要性というか、費用的なところも、先ほど、平井委員もおっしゃっ

	ていましたけれども、プロの方がいらっしゃるの、やっぱり演奏の方が来るって、結構お高いということはよく理解をしています。その方に個人的なご指導もいただけるということにあっては、子どもたちもすごく励みになるという、質がもっともっと深まるのかなと思うんですが、教育委員会として後援していくというところの重要性がちょっと見えない部分があり、子どもたちの人数、前回参加をされている子どもたちの人数というところ、その他で、これは二つ目です。一つ目が、7回中、何回教育委員会が後援されているかということと、二つ目が、子どもたち、昨年参加された人数。そして、三つ目がその他の地域、江戸川区ですから、江戸川区の教育委員なんでしょうけれども、多分、江戸川区に限らないと思うんですよね。その他のところの皆さん、教育委員の方が後援としてなっているのかという、その三つ、多いんですけれども、ちょっと教えていただけますか。
教育推進課長	ちょっと順番前後しますが、まず昨年度の人数は79名参加となっております。
天 野 委 員	江戸川区の子ども、中学生は。
教育推進課長	小学生とは限らないんですが、79名ということでお伺いしてございまして、この7回目の後援名義申請というのは、この大会を7回やったということではなくて、教育委員会に後援名義をいただいてから7回ということでございますので、教育委員会、初めて行うイベントに後援名義をつけることは比較的少ないです、実績のあったイベントに後援をつけたというところが多いかと思います。そういった中で、今回のこのピティナピアノステップでございますけれども、文部科学省の後援も得た上で、こちらの全国的に展開されている事業だというふうにお伺いしてございます。いただいている資料で、直近が2023年度になるんですけれども、2023年度で全国で375か所でやっているそうです。文科省の後援を受けた上で、文科省の後援プラス実施するその地区ごとの後援をいただきながらというふうに聞いていますが、全国的に375か所でやっているというふうな、非常に大きな大会だというふうにご伺いしてございます。後援をする意義としましては、一つは子どもたちにとって、音楽、ピアノの発表をする場として、非常に有意義だということもそうですし、こちらは全日本のピアノ指導者の協会ということで、どこかの教室のことではなくて、そちらの広く誰でも参加できるということで、ピアノ指導者の皆さんが全国的に連携をして、子どもたちの

	ためにいわゆるステージを用意して、そこに助言も与えようということの取組みということで、国も含めて非常に有意義だというふうに捉えていらっしゃるというところにおいて、江戸川区で開催するものにつきましては、区教育委員会としても後援させていただく、そのような趣旨で行ってきたものであります。 以上です。
天 野 委 員	ありがとうございました。費用で教育委員会後援になっているかということで決めてはいけないものの、ちょっとご予算が高いというところもあるのと、ほぼ、どちらかという出張費ではないのですが、先生方に対するところの費用になってきているのかなということもあって、ちょっと疑問に思ってしまった次第です。ありがとうございました。
教 育 長	ほか、いかがでしょうか。 〔「なし」と呼ぶ者あり〕
教 育 長	なければ、ただいまの報告事項を了承いたします。 これより会議は秘密会となります。傍聴人の方は退室願います。 〔秘密会〕 〔秘密会終了〕
教 育 長	秘密会はここまでとします。 以上をもちまして、令和7年第3回教育委員会定例会を終了します。 閉会時刻 午後2時24分